



3枚におろされたブリを見る園児ら
 豊橋市牟呂中村町の明照保育園で

ブリ解体ショー 園児ら楽しむ

豊橋

子どもたちに魚に親しんでもらおうと、豊橋市牟呂中村町の明照保育園で三十日、ブリの解体ショーがあった。年中の園児二十九人が、普段口にしていない魚の切り身ができるまでを見て学んだ。

明照保育園に給食の魚を卸している市内の鮮魚店「魚治」から柴田憲男さん(四三)を招き、七年前から解体の実演をしている。

八〇センチの天然のブ

リがお披露目されると、子どもたちからは「おっきい」との声が漏れた。柴田さんが説明を交えてブリを三枚におろし、慣れた手つきで刺し身や切り身にする、拍手や「かっこいい」という歓声が上がった。

最後に、柴田さんは「皆が生きていくために命をいただいている。給食も家の食事も残さずしっかり食べて」と呼び掛けた。

見学した福井楓歩ちゃん(五)は「かわいそうだけど、食べたくなかった」と話していた。